

ヒナダンデザイン階段 (化粧ひな段階段) 施工手順例

この度は、弊社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
本製品は、一般住宅内装用の製品ですので、屋外には使用しないでください。
施工の際には、必ず本手順書をお読みください。

◆表示内容を無視して誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分します。

 **警告** 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害または、家屋・家財などの損害に結びつくもの。

◆お守りいただく内容の種類を次の記号で区分します。

 この記号は製品の取り扱いにおいて、必ず指示に基づいた行為をおこなわなければならないもの。

 この記号は製品の取り扱いにおいて、指や手を挟まれないよう注意するもの。

 この記号は製品の取り扱いにおいて、その行為をおこなってはならないもの。

 この記号は製品の取り扱いにおいて、注意すべきこと。

警告

 同梱されている部材や部品は本製品の専用品となります。
本製品の施工以外にこれらを使用した場合、部品の脱落や破損等が発生し、重大事故につながる可能性があります。
本製品以外にこれらを使用したことによる如何なる事故や不具合等に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。

 **○施工手順の注意事項**
・本紙は施工手順の例を記載していますが、納まりや強度を保証するものではありません。
実際の現場や階段の状況に合わせて、補強や調整を行ってください。

 **○階段ご注文前の注意事項**
・階段には建築基準法や、条例などのさまざまな規制があります。
ご注文前に必ず確認していただき、規制を守った施工をしてください。

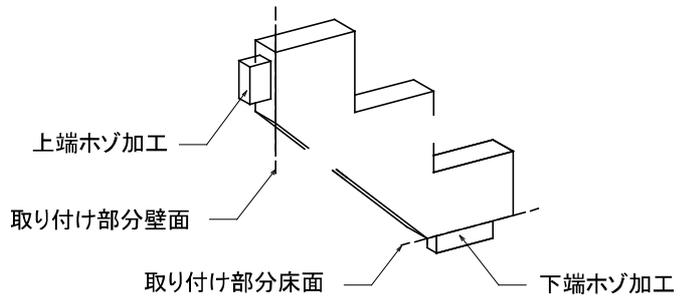
○施工前の確認

- 1) 納品時には部材または部品に損傷が無いか必ずご確認ください。
取付け後の損傷クレームについては責任を負いかねますので、商品に不都合な点がありましたら、必ず施工前に販売店へご連絡ください。
- 2) 仮並べを行ってください。
位置関係及び、寸法を確認してから施工してください。
- 3) 部材の保管は、湿度の高い場所や直射日光の当たる場所を避け床面が水平な場所に保管してください。
反りやネジレの原因になります。
- 4) 塗装済み部材をシンナーなどで拭かない様にしてください。
色ムラが出来る原因になります。
- 5) 安全な作業環境を整え、危険の無い施工を行ってください。

施工手順例

【1】. 桁のホゾ加工

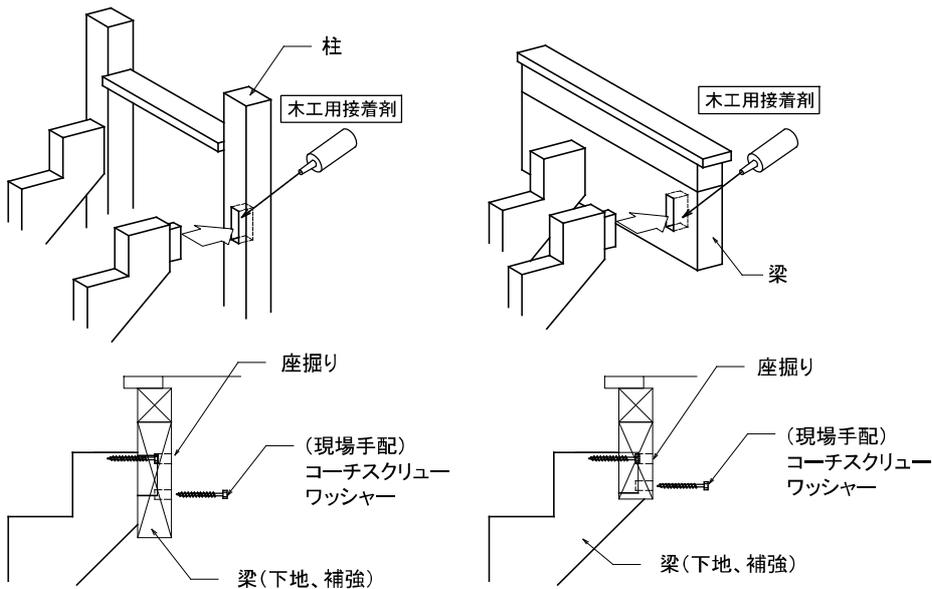
- ① 桁を受ける部分の床は階段施工前に仕上げてください。
- ② 桁のカット位置を墨出して、上端部と下端部にホゾ加工をしてください。



【2】. 桁の取付け

- ①【1】で加工したホゾに合わせて、取り付ける床や柱(梁)にホゾ穴を加工してください。
- ②ホゾ穴に木工用接着剤を塗布し、コーチスクリュー(現場手配)で固定してください。

《上部》



! 強制

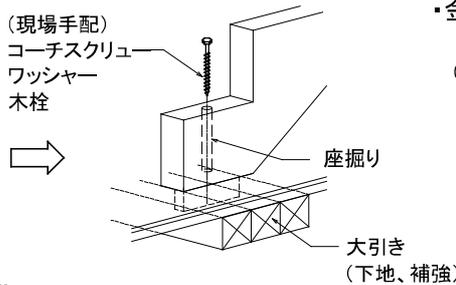
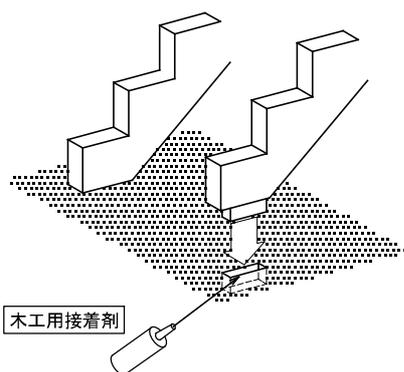
表から見えない部分にコーチスクリューが届く位置まで座掘りを入れてください。
コーチスクリューを打つ際は必ず下穴を空けてください。

!

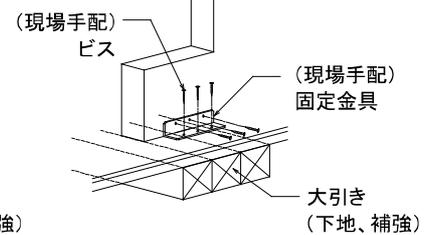
表から見える位置にコーチスクリューを打つ必要がある場合は、座掘りを木栓等(現場手配)で塞いでください。

《下部》

・ホゾ加工+コーチスクリュー



・金物で固定

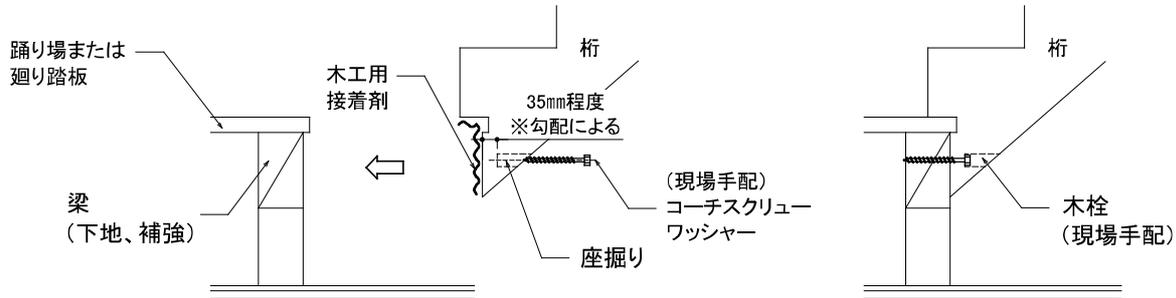


! 強制

必要に応じて、床や柱の補強を行ってください。
取り付け位置に下地が無い場合は、大引きや梁を入れてください。

桁の下部を踊り場または廻り踏板に固定する場合

- ①先に踊り場または廻り踏板を施工してください。桁の取り付け位置には梁を入れてください。
- ②桁をカットしてください。
- ③コーチスクリューが届く範囲まで桁に座彫りを入れてください。またコーチスクリューを打つための下穴を必ず空けてください。
- ④桁に木工用接着剤を塗布し、コーチスクリュー(現場手配)で梁に固定してください。

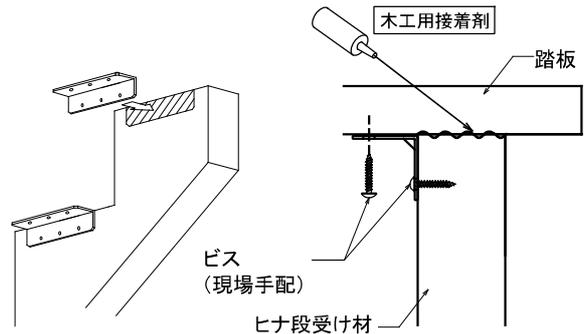
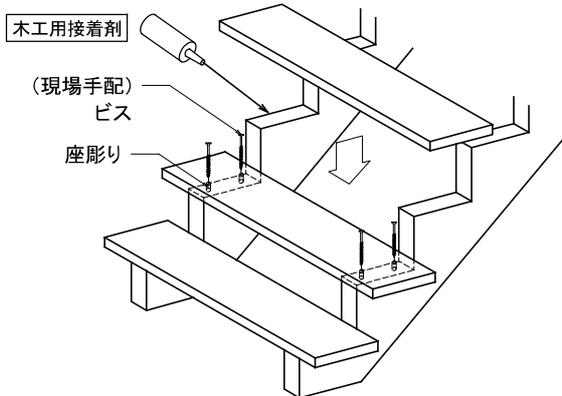


【3】. 踏板の取付け

- ①桁の天面に木工用接着剤を塗布し、下図のように上側から踏板を置いてください。
- ②踏板天端に座掘りを入れ、ビス(L45~75mm程度)を打ち、踏板を固定してください。座掘りは木柱(現場手配)で埋めてください。※Φ10x1000mm(樹種:ゴム)の木柱は弊社にて販売しております。

受け金具を使用する場合

受け金具(現場手配)を桁に取り付け、ビス(現場手配)と木工用接着剤で桁と踏板を固定してください。
※受け金具は弊社にて販売しております。



⚠ 桁の天端と踏板の間にすき間が空くと踏み鳴りの原因となる場合があります。

★階段取り付けの最後に。

- ①階段取り付けの最後に、階段が正しく設置されているか、軋みや揺れが無いをご確認ください。また、キズや塗装の欠けが無いか確認し、必要に応じて補修を行なってください。
- ②階段施工後はゴミや埃などを取り除き、化粧面の養生を行ってください。



化粧面に直接養生テープを貼ると、表面の塗装と粘着反応を起こして塗装剥離を起こす可能性があります。化粧面には直接貼らず、裏面等の目立たないところにお貼りください。やむを得ず化粧面に貼る場合は、マスキングテープ等の粘着力の弱いものを先に貼り、その上から養生テープをお貼りください。



木質製品は基本的に水気を嫌います。水や洗剤で濡れたままにしておくとシミ、変色、カビの原因となりますのでご注意ください。

○商品に関しましては、お近くの営業所または事務所までお問い合わせください。

- | | |
|---|---|
| 東京営業所 TEL 03-6859-0700 FAX 03-6859-0702 | 中部営業所 TEL 0574-24-7781 FAX 0574-28-6191 |
| 大阪営業所 TEL 072-988-5320 FAX 072-988-5321 | 九州営業所 TEL 092-260-9617 FAX 092-260-9618 |
| 浜松事務所 TEL 053-411-0701 FAX 053-461-8901 | 長野事務所 TEL 0263-47-8516 FAX 0263-47-8517 |
| 東北事務所 TEL 022-217-6465 FAX 022-217-6466 | |